

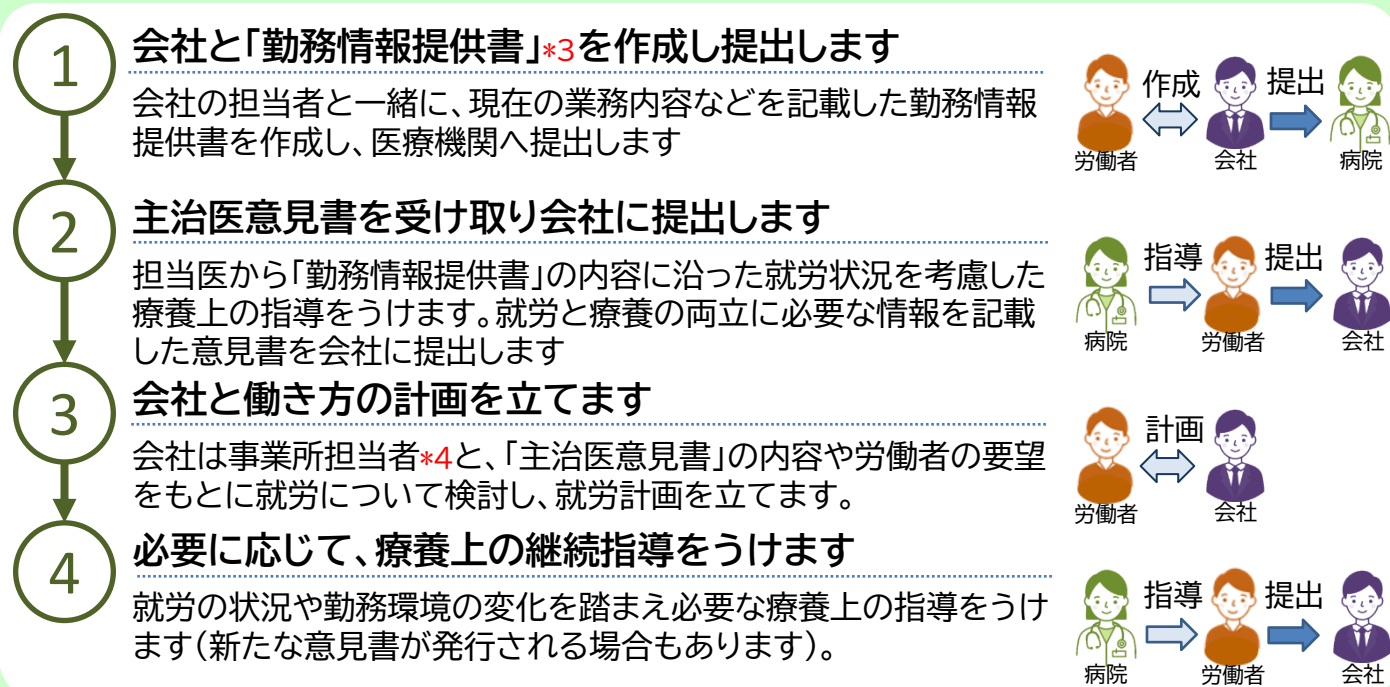


「病気になっても働きたい」 働くあなたを応援します

当院リハビリテーション科では、労働者(患者)からの申し出*1により、就労状況にあわせた療養上の助言を行うとともに、医学的根拠に基づいた具体的な措置や配慮事項について意見書等*2で会社へ情報提供し、治療と仕事の両立を支援しています。

働きたい気持ちがまとまったら

療養・就労両立支援



Point!

仕事どうしようかな?と思ったときは
不安に思うことを整理してみましょう

自分自身が考えること

- 勤務時間や業務内容は今まで通りで大丈夫かな?
- 会社の誰に病気のことを知ってもらう必要があるかな?

会社に確認すること

- 会社の相談窓口はどこ?
- 業務調整できるの? 休暇制度はあるの?
- 柔軟に働けるような制度はあるの?

リハビリテーション科へ確認すること

- 働くときの制限はあるの?
- 治療期間や通院頻度はどれくらい?
- 副作用や症状への対処はどうしたらいいの?

リハ科担当医や
リハセラピストに
ご相談ください

治療と就労の両立支援は 労働者、会社、医療機関にとってメリットがあります



労働者

- ・治療をしながら仕事を続けられる
- ・仕事による収入が得られる
- ・安心感やモチベーションになる
- ・病気の増悪の予防になる



会社

- ・継続的な人材が確保できる
- ・労働者の「健康確保」の推進
- ・「健康経営」の実現
- ・多様な人材活用による組織の活性化



医療機関

- ・労働者の社会的背景に応じた治療説明や意志決定の支援ができる
- ・仕事の状況に応じた通院日や通院の時間帯の調整ができる
- ・会社や労働者が悩んでいることなどに具体的な助言ができる

担当医・会社・産業医などが連携し、労働者の健康を適切に維持しながら
治療を受けながら仕事を続けることができます

注釈

申し出*1:

労働者(患者)と労働者を使用する事業者が共同で作成した勤務情報を記載した文章(勤務情報提供書等)を病院に提出した場合をさします。

意見書等*2:

就労の可否や仕事を続ける上で必要な措置や配慮事項について担当医が文章を作成します。病状、治療の副作用、治療予定などを記載した診断書を作成する場合があります。

費用 療養・就労両立支援指導料(初回800点、2回目以降400点)

対象 悪性腫瘍、脳血管疾患、肝疾患、指定難病、心疾患、糖尿病、若年性認知症

勤務情報提供書等*3:

職務上で最低限必要となる作業や要件、どのような働き方をしているか、職場環境、事業場として考えている対応や、質問事項などについて、労働者と事業者が共同で作成します。就労に関する意見を担当医に求める際に活用します。会社所定の様式がある場合もあります。

当院ホームページからもダウンロードできます ▶▶▶



事業所担当者等*4:


産業医、保健師、統括安全衛生管理者、衛生管理者、安全衛生推進者、衛生推進者、をさします。労働安全衛生法に基づいて、常時50人以上の労働者を雇用する事業場では、産業医、衛生管理者の選任が、また常時10人以上の労働者を雇用する事業場では衛生推進者の選任が義務づけられています。労働者が安心して働ける環境を整える事業場における担当者です。



詳しくは厚生労働省ホームページ『治療と仕事の両立ナビ ポータルサイト』
<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/>

治療と仕事の
両立支援



 相澤病院 リハビリテーション科

〒390-8510 長野県松本市本庄2-5-1 TEL0263-33-8600

<https://aizawahospital.jp/rehabilitation/>